



5月の園だより

令和6年5月1日

目黒区立八雲保育園 園長

～「なんだろう」があふれる遊びの広がり～

新年度が始まって1か月が経ちました。0歳児クラスのある保護者の方から「毎朝、保育園に行くことがわかると足をバタバタさせて嬉しそうにするんです」といい、保育園が安心できる場所になっていると感じています。

先月に4、5歳児クラスは多摩動物公園へ遠足に行ってお来ました。事前にそれぞれのクラスを覗いてみると4歳児は「どんな動物がいるかな」と見たいものを壁に張り出したり、5歳児は『オランウータンの生態について』体験しながら考えたりしていました。当日は、スタンプラリー形式で見つけた動物たちを目の前にしながら「本当に足が手みたいにロープを握れたりするんだね」「一番足が速いチーター、走ってくれないかな」と調べたり体験したことを答え合わせしながら歓喜していました。友達と大きなバスに乗って園外活動をすることは、子どもたちにとって大切な経験の一つになります。当日だけではなくその日まで、または翌日以降の遊びの中でも子どもたちの興味関心が継続できるように遊びが広がる保育を進めていきたいと思ひます。

今月から各クラス懇談会を予定しています。お子さんのことだけではなく、保護者のみなさままでコミュニケーションがとれる機会となりますのでぜひ、ご参加をお待ちしています。

5月の行事予定

0歳児クラス懇談会

1歳児クラス懇談会

2歳児クラス懇談会

3歳児クラス懇談会

5歳児クラス懇談会

身体計測 避難訓練

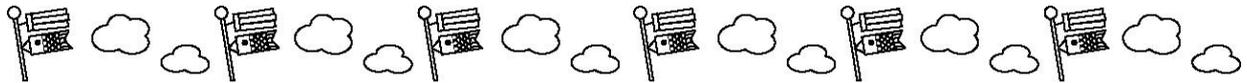
6月の行事予定

4歳児クラス懇談会

納涼会

身体計測 避難訓練

春の健康診断



保育園での生活 ～新年度から1か月経って～

めだか組（0歳児クラス）

初めての保育園生活に少しずつ慣れてきて、日ごとに笑顔が増えている子どもたちです。保育士が抱っこをして近くの玩具で遊び始めると手を伸ばして触ったり、舐めたり、振って音を出したりと、色々な方法で試しています。そして安心すると保育士の膝から降りて自分から玩具に向かい遊び始めます。保育士がくまの人形を動かしながら「くまさんくまさん、まわれみぎ」と歌うとじっと見たり、ゆらゆらと身体を揺らしたりして楽しい気持ちを表現しています。ゆったりとした雰囲気の中で身近な保育士と安心して過ごせるようにしていきます。

あひる組（1歳児クラス）

初めて園庭に出た日、身支度をしている時は不安そうでしたが、いざテラスに出てみると外の空気や風を浴びてピタッと泣き止み気持ち良さそうにしています。保育士が砂でお団子を作り置いて見せると、「何だろう？」という表情でのぞき込み、そっと指先で触れていました。お団子が崩れたので「あっ、こわれたね～」と言うと、ちらっと保育士を見ています。「もう一つどうぞ」とまたお団子を置いてみると、それに気づいて手を伸ばして崩しています。そのやりとりがおもしろいようで繰り返し楽しんでいました。これからも、子どもが興味を持ったことに寄り添いながら気持ちを通わせ、安心して好きな遊びを楽しめるようにしていきます。

らっこ組（2歳児クラス）

砂場にできた水たまりを見つけ、そっとスコップで触っていた子がいました。そこへ後から来た子が靴を脱いでズボンを捲り豪快に水たまりに入ると、同じように裸足になり一緒に入っています。「冷たいね」「気持ちいいね」と二人が笑い合っていると次々と子どもたちが集まってきて、水たまりを広げたり山を作ったりと泥遊びを楽しんでいました。友達や保育士の遊びを見て「おもしろそう」「やってみたい」と同じようにやってみようとする姿が増えています。一緒に遊ぶことが楽しいという気持ちを大切にしながら、好きな遊びを十分楽しめるようにしていきます。



いるか組（4歳児クラス）

いるか組になり、フリースペースが今までよりも身近な場所になったようです。子どもたちはフリースペースにあるたくさんの積木を使って動物園を作り始めます。保育士や友達と会話をしながら作り進めると「ライオンとゾウもいるよね」「動物園には休むところもあるよね」と色々なアイデアが出てきて、それぞれのイメージを形にしています。その様子を見て「いっしょにやってもいい？いれて」と友達が加わり、さらに遊びが盛り上がっていきます。一日を通して遊びが続き、次の日も続きを楽しみにしています。保育士も一緒に遊びながら友達とみんなで作り上げることの楽しさをたくさん感じていきたいです。

ペンギん組（3歳児クラス）

園庭に出るときに「今日もシャベル使いたい」「大きいお山作るの」と“お兄さん、お姉さんになって使える長いシャベル”を使って遊ぶのを楽しみにしています。シャベルで砂を積み上げ「見て、ここまで大きくなったよ」と山が膝の高さまで大きくなったことや、道を作り「ここは工事現場です。危ないですよ」と話しながらみんなで穴を深く掘っています。色々な遊びの中で、前より心も体もちょっと大きくなって出来るようになったことが増える嬉しさを感じています。保育士や友達と一緒に好きなことを見つけ、遊びの中で“出来た”と感じる経験を重ね、自信に繋げていきたいと思います。



しろくま組（5歳児クラス）

子どもたちが大好きな遊びの一つ、氷鬼。ある時、タッチしては逃げられ走り続けていた鬼役の子が「あ～もう疲れた」と立ち止まってしまいました。保育士が「鬼の仲間で作戦を立ててみたらどう？」と声をかけると「何か良い方法はないかな」と鬼たちが集まって作戦会議が始まりました。凍らせた友達の周りをガードし、助けに来た友達をタッチする作戦です。「そっち行ったよ」「〇〇ちゃん捕まえた！」など声を掛け合い、作戦は大成功。日々の遊びや活動の中で、友達と考え工夫することでより楽しくなる経験をたくさん積み重ねていきます。

